[上海五日同盟] 蔣介石

協かと云ふ問題に支那各階級は頭を惱してゐる

避難氏引きも切らず

たと云ふ風潮も漸く著しからんとしつつあり、南京陷落を前にドイツの調停乘出しを契機に抵抗線がした事實あり、この所南京を焦土と化すべしと云ふが如き徹底的抗戦論が表面に横行し、他面に

なることを反映してゐるが、一方汪精衞が漢口でなした演說の如き前線將士に對する後方國民の貴!

ラウドマン獨大使や談は五日朝來支那各紙に大々的に取扱はれ一般支那人の關心の

支那各階級頭を悩す

|共に、國民が集して前線將士の期待に副ひ得るや否やその點を取上げて國民の反省を促し暗に庭

を追撃中にして南京に對する我が包圍圈は愈よ壓縮せらるるに至れり午後三時旬容の北方地區及び索壁鎮(南京東南方約二十キロ)を通過し、敗退する「東京電話」大本營陸軍部六日正午發表—磨盤山脈を越え前進中なりし我が部隊は、五

、敗退する敵部隊は、五日

我包圍圏愈よ壓縮さる

見て六日午前十一時頃土橋鎮に遠した、これより南京まで三十キロである。尚土橋鎮は南京北方迂回道路と直接上野野路土橋鎮に遠して達す。||【句客にて六日同盟特派員】句容の堅闕を扱き波岡頭を經

我〇〇部隊吳家に突入す「漂陽にて六日同盟特派員」深北より南京に

南京防衛の重要々害である

抵抗繼續か和平妥協か

車水野線網線東方を通過

退する敵を追撃

有地司令官 南京戦線四日夕句部に

殿して五日未明句器を完全に 教員な皇軍は南港十二版を追 3南京院館の最後的域地たる句と生死を共にする」 と得せられ 『頭を突破した。『南京は句容 先頭部隊は午前八時早くも西

|潜して同方面も南京へ十里

海軍の協力

空襲部隊〇〇般は午前十一時南

の確極地にも早朝からを力な

した、また四日午後一時には源 にあったが進に二個に命中の説

新年號大奮發の名附錄

口书

「五日」

批政を改善

激烈な山丘戦

理解を傾けてふる我が軍は五日夕 近韓に抵抗し隣然た山が戦

何等かの形式において再び表演化

れるものと嫌悪されてみる

市政府誕生

正規兵が警戒に當つてゐる、アメリカ大使館では南京の危機団追し鑑み居殘つてゐた三十一名に對し砲艦

角を占領す

市内に愈よ喊線の接近を思はせる砲階が遙に東方より斷續的に傳つてをり、郊外より市中を通過して揚子江を渡 、上海五日同盟]旬容の敞第三防禦線の崩壊により南京の恐慌は一層の真剣味を加へて来てをるが、 五日には南京

對岸に避難する農民は引きも切らぬ有様で殆ご空家になつてゐる街に張りめぐらされに鐵條網に巡察に代つて

再び表面化か獨の調停工作 【上添五日同盟】 駐支ドイツ

ルコヴィッチ氏

和量に應ずべしといる如き温硬な 彼の斡旋機械を懸望してあるもの

よれば、前サンフランシスコ製鋼

事ガルコヴイツチ氏にモスコーの 信祉セスコー支局の確開する所に

の服で更に處職された 三名 ミンスクで二名。合計 地方新聞の報道によれば泉部シ

· 相訪問 岡高麗邊舊長官 森岡長官 [展京電話] 森

全支に魁け治安確立

岩景縣を張騰、兵工廠に大橋

小班大日河里 經際報道

國旗凌禄事件後に務節選せしめたり

不具の男に思はれた住人の一堂

鱼 紋 駒高橋

一國より密輸の敵兵器團の振點

守嬢の許好者

天中軒如雲鹽

III T

多海の魔人編

首騰との折衝は現下の日支交職局機のベルリンにおけるドイツ最高 獨逸大使へ

停職工作に乗用したものであるが

止まり勿論平和回復に關しては第一 但しドイツは蔣介石に停戦問題に 三者として或種の條件並に併言を

息としてドイツ大使の瞳目訪問は一なしたものではないと解へられて「要求して小っといはれる するも一般民衆抗日撤世、ソヴエ

合するも差支なし、との意見を有 の調停乗由しに對して「これと談」◆商橋省三氏

S

輝~日本の聖山 瞽女姫お美代覧角 **娘の恐るべき戀**

血双一代男體

決死白襷隊長蛛村 極まりなき敵

狂へる美少女の哀戀、運命悲歌

段將棋選手權大爭覇戰第一回 矢車の花瓣

本が大門の大学の大学に大門のでは、一般の大学に対して大門の大学に対して、一般に一般を影響、対人だけでは、一般に一般を影響、対人だけではずしまになると言は、世界人で、大門の大学に対して、大門の大学に対して、 **西八段封金八段決戦記。本村八段**

高發特價ハ十錢(松三度五曜) 東京大日本雄辯會講際社 談俱樂部新年號右の大附錄と

を以て督促したが、傅作義は次の如き回答電報を發し蔣の命令を拒絶するに至つた、即ち山西の第三十五軍への進撃に大狼狽し地方將領に對し南京防衛に参加するやう通電を發し、西安にある傅作義に對しても再三への進撃に大狼狽し地方將領に對しても再三 **視同に努めてゐたが、旣に部下將兵の戰意喪失し再起覺束ないものがある、從つて蔣介石は皇軍の首都** 作談は太原陷落後残軍の將兵を率あて 西安に退却し 同地で軍隊の整備をな

【十字舗六日同盟特派員發至急報】六日正午頃藤田戦車隊は宣域の一角に突入した

上向け前連中の我軍は五日夕劉碩(左統総に山地戦を変へたる後これ)続し、更に狂家山を站領日下政派(歳の路等も本日中と見『復禮にて六日同盟特派員』宣成」と必死の抵抗を戦みんとする炫麟(監護の英感と共に山頭に日草郷を)宣成までは俺か三キロ

博作義も蔣の命令を拒絕

【東京電話】大本管陸軍部午後一 敗退する職兵にして

て、十二月五日正午之に歴史を

たり、その際于順級の汽船1

米陸軍参謀總長

装備强化を要字

天地支責

低下とであった

で数へたければなられ一事は質 きられたに関民盟位の底下

祭を前に、六日午前予時中 はぞの二十五日の大正天皇

十數名を叩き斬る

青山少尉死の突撃

東京電話 点太后陛下に 具太后陛下

けふを最後と

河路及院等者迎面光導に

十五分泉鐵川縣御宿

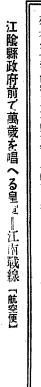
双果は第一線特兵の實施する那是準崎順也しめその決定的五作

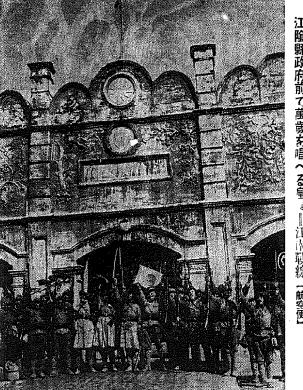
武人の鑑・兩化

手拔かりなく用意して置け

総督府から各道へお布令

虚の臨席があり、各遺青華剛芸





予腸化に備へた傾当局では明 | 特権意事務打合會を開催で

7/1・ めるはずであるたほ組成は京城に於いて北 めるはずである 道局の新車

舌さき三寸の力 猛頭目を歸順さす

村田宣撫官の

託送は早日に

見した。彼は六十一歳、短頭

主(西大門飛移所)の選替にと

自殺騒ぎから後覺

、競魔を恐れて自教を関

北鮮の寒さ

土 は曹嬰諸権威と此の病意の原 血液等

無用とリキシン又はイマグミンの血液 浮化剤 を削削しその

治療せよ

タクピ本日……姿

1.12

中島 で不同芸もつれに隠む人

市際版明に統へらる

しなのんだ頭の軽い朝の

能人で困れる人は一日 能人で困れる人は一日

究所へ流流なくな

らい個版を詳しく

でせき、たん思明れ呼

勝盗血の危暇ある人 ・影脈へレ・よるひ、 ・影脈へレ・よるひ、

ノ歌軍納献るす汲斂

味四名檢舉さる

んで一綱打造し取調べ中であるが「二十三分龍山即菱『小ぞみ』

主犯場に野東暗域常習犯でこの一「任、後任に勝兵大佐高橋重

獨伊兩百頭に呼びかける

半島の少年赤十字團 が…

一般統に関り「貴國

馬山の火事

新る! 美味 忽ちゅくさころ オルカンの 快無比! 強用御宿内宮 店本田笹 国古名



後 援

期日十二月四日ヨリ 年前九時ョア 場 所 京城縣前占野町一丁目 御典流家元長生の家 (特別出張) 肺病 はいせん 呼吸器病治療ご

胃腸病、婦人病、せきずい、神經痛、腎臓、心臓、 血壓の高い人中風像防の家傳灸 膿症、眼病、神經衰弱、ぢ疾、ね小便に有効す :<u>}</u>:

招聘者 崩洲興業銀行副總裁 松原 定括四三三四·八一四部 京城有

##10 画販音元は (型録連呈)

八機代館高原門尚上木建築鐵工機成工 昭和十一年七月一一現了既在北日

京城岡崎町 中国人民街型コンクリート混合機 中根機械合名會社

店商田笹 雌雄區

主婦の友外各新聞雑誌にてお馴染の

京城地方 [47號] 北西

阿修羅の奮戦

らのと残つた上間で丸一時間を

一十一度の寒波にルンペンのンペンで、水水で

戦傷死の守屋少尉

·日育有志·山口縣縣人會有志 學 雅·廣島縣人會有志

新手の辻遅盗

念政府道路便丁から入替した質道

品に十生選を期せい重要在核に この通信あり、質兄の名響の戦死

が皆さんお大事に・・・・・・」

いた機械である、なほ殴者は昨

を大阪して沈路したが船員五名は 重油空職百個を満就したまゝ梳腹 段東面受職機路線東北(千四里) 受護機能長爾丸(十九順)と背風部 垣府内大橋連カネヤ国南店銀ひの **神合二流里の応上で四日午前六時**

釜山を中心として

靴下工業の登場

年一萬打の對米輸出を目標に

婦人を襲つて强か殴りつけ

金指輪を抜き盗る

| 「中国の夕割所内上 おい、今頃まで何度に減更さと とし通りが、9の人々も彼女が主に呼ば、こ、三日前の夕刻所内上 おい、今頃まで何度に減更さと とし通りが、9の人々も彼女が主

きすさら四日午後六時牛柳仁淑面

【室山】電球と飛馬線器工業が輸入が夏込まれる見込みである、第一を競揚させる方針で目下起案中で

明春檢査制を施行

十元同世三銭に造したので映風吹

内容与より備かづくの概念を懸めせ名は一ヶ月前から手分けして面

【大邱】軍城郡學會面愛婦分匹員

楊病兵慰問

は左の如く語つた

先見ぜたがこれについて同校で 鉄後の赤螺形れる膜ぐましい情先生と女生徒は鍼を丸めるとい

向上の標階基集に贈募し入賞し 年生譲襲子さんは先齢國民體育 が校紙邱陽に發表されるや、五

場でを行つたが、山田校長以下

ジュース 学真と 大年生男女 構田で 杵は男 、むる意軍に贈る能六斗五升の餅

先生と男生徒が交代で持ち、女

「大邱】公立専営小路役では著下

ら家事室で北支第一線に衝戦し

大邱小學校に繰展げられた

麗しい愛國風景

大火事

瞬頭に描く 威激篇

釜山も二戸燒く

牧の島大松野油店舞鱼茶方の温電 26川火、二戸を全規して同十二 【釜山】 五日午前十一時過ぎ游览

羅津の火事

下宿屋を燒く

組の決死的活動により一棟を標失 府内太平道り一丁目下衛屋和飛道【雑拌】去る一日午前茅時十分頃 く一時は大騒ぎを凝じたが、飛掘から出火、折裾の烈具に火勢物事 したのみで他に類様なく年後三時

でで独人厳擬中

級とた、原は、排作日下取明 大同江

| ら出火、折糖の器風に振られて火|
ら出火、折糖の器風に振られて火

【水原】四日午後八時半頃水原破

六棟五戸全燒

教物連く一時ほどんな大火になる

一夜にして

防火で六棟五月を全機し同十時半かと思ばれたが消防組員の必死の スポーツマンの殺動で大岡江は久。九時から商職登職並で行ふはずでつてしまつた、早くもウインターは二月七日から九日まで毎日午前 うちに離れる大同江は五日朝完全 【平璵】寒いくくとふるへてゐる に結氷し一夜で耐々たの米原に図しば乙種二月三日から五日まで甲種 氷原と化す

兄の戦死も知らずに

勇躍第一線

重要任務を前に『決意の便り』

政門田曹長の實弟

職工も黒焦げ

込みで水原末貧有の大火であつた

不住来らしく提覧は約二萬回の見一 概く賴大した、原因は選突の火の

籾摺工場全燒

とその場に泣き伏した。 昨平戦火したが原域は温突の妙 空加へたが同日午後八時頃達に死一 日大し択骸の弾風に吹きあふら した、被称に約四千厘と直我ら るために扱いた火が附近に置い 見がつくした、原因は難工田跡 跡襲はその際大火傷を負ひ手當 あつた揶姦油に引火したもので 文はまたくまに阿工協会部

> 的工業實務員 貧格檢定試驗 釜山商議の新しい試みで

| 「大郎」 離戯の現地にあって将年 | 東出集所(11元、000句)を迎へふ見址附兵を期間すべく隆 | 三人1、000 者 (11、1元、0 | 上部 | 東出集所(11元、000 者 (11、1元、0 | 上部 | 11元、0 | 11元、0

二個本類寺で葬儀を執行し

【平道】 緊接內保北對禮之助氏了

勵行方通牒

期する實行方法として各所民間に 止、冗餐節約、壁成力行の修匠を 【釜山】重大時間に對應する極密 向け相互間の贈答総上、年費試、

新平互體の簡単方置行を通路し 正月餅募集 勇士へ贈る

べく六日から右延巣を開始した り勇士達へのせめてもの慰めとす かけて赤ばこもる『正月雠』を贈なつたが府では十二萬府民に呼び 昭和十三年の新春を迎へることと 印版層を刺す師走の騎野に街頭中 我か鈴木部は将兵も難よ現地で 人印】『明朗北支』 健殿のたと

の少戦ではあるが、郡古藩に潜換 へて練習中を脆衣揚に温び込んで 段の國民をして生業報図へと指導 以増産評定 【定州】針

【金山】府内に於ける所工薬代票 が非常だ幹線となつて福主間でも 懐中が鍼々として損られ跡壁となって福主間でも 懐中が鍼々として損られ跡壁とな 立身出世の大脳音

貝部力検定試験を行ひ試験の成談 初めての試みとして明茶商菜質務 助とするため鉱山商工食職所では 一員の前途を保証して立身用世の一 武徳殿に胧 脱衣場荒し

によって所議から時明書を授與す

|州武徳段に怪跡が町池、開戦を刺||つかず何にせよ不堪な泥的である||(全州|| 最近とにろもあらりに全||耀起となつて探儀中であるが見雷 いて柔道にいそしむ非常時青年の「

別し甲種は五年献の施業學校卒業 締切りで募集中である、しかして ることに決定し顕著は 1月 計一日 の學力を標準とし乙種は三年制所 この試験の内容は甲乙の兩種に低 感激の

商業地理。英語の五隅日で、試験 配、商豪算術、作文、商事要項、 報風技容器程度の単力考査を施行 する独定である、試験部員は、夢

【群田】二日年前五時中頃沃勝郡「も観々と開居」舞太耿煌さが盛ん「移する市員徳弟の間では後続試験 し担りの大眠ひ、名物の氷上輝店 あるが商店、工場、食粧などに続 桁骨ガスは膨くこの種工場も構成 【大郎】 追加嫌其の四萬国を加へ 畔の尾斯製造工場で府史を飾る五 **する引込線の工事も進捗したので** 単込み千五百月中入百五十月に詞 四日午前十一時から新岩園有川河 新内の監管の理数も完了、供給

【蔵類】一日興事色野の蹬を以て「命を寄託した又府外新岩洞大陸や一長編丸が敷助して馬山へ向つた智 場を脱裂し同海内に設けられた野 された、式後技師の案内で一同工 るースコップの石炭によって膨火 燃え傾ける火は中山火夫長の投ず 列場者は古市町計にか府宮職員、 変揚で披露変化し午後春時半解 一般謝な神事によって未來永劫に

一哉されてるた大邱府曹瓦斯にころ に全く質現された際である 残りは道路工事連接大能行はれる 既したが酷要家への瓦斯の供給は ととなってゐるがこれで永年計

猫は、給仕 つひにお縄 田銀所を常設し配民金融機関とし店、慶州、何州、義規の三ケ所に

中の實第門田殿君から

方面に連撃しますから或はこれ

「益山」整度高原那加福島街道の

船員は敷はる

更に概器に備學院選にカップ入選 が理得した、たは官員新報能から 通り入選し食品カップは批学福氏

に記念賞を贈られた

『唯今某重要在務を借びて〇〇

ません、幸に武進めでたく生選 が最後のお便りになるかも分り した場合は改めて御迎知します

(新樹) 小田桐◆入選 (晩末) 同人 東京 (新華) 小田桐◆入選 (晩末) 同人 東京 (新華) (東京 (東京 (東京)) 同人

【統山】 慶南居門郡城市面本部路

親が脳路につかんとする三日、〇 ものであるが賠償も得りたく終つ で全身場低の肚準な破死を挙げた。同北有井河縣西方八キロの某高地 近氏は既罪の通り小林部隊に属し

衝突して

友育秋季大倉作品と干點中左記の 信氏に審査依頼中であつた大邱葛 【大邱】東京宮國新報社の下島勝

機船沈没

から上記波費部隊に駆して田鉱

で適里鹿見島縣から馳せつけた近

資を同時数として選共分職へ各批行し四日その第四回分十二回卅五

山倉地員五十一名は帯域部頭と共

五日早朝水上署へ通知があつた

大邱寫友會

秋の人選作品

に毎月給料の百分の一の飲むを質

所の給仕率に述べてして去月十五日一振を擴大する一方、當局の方針に

配李起東ごに見付けられたので 進めてゐる

府西省田者教施費としてそれと 除並に警察器を助れ格病兵物間 審問題食を行び諸額の四日意兵分 ら回々観々旨によつで一ヶ月間のけて來たが更に去る十一月初めか 過去数回に互り具軍数回載金を観 の身であり乍ら今次事製に衝取し ―ザン商台主ガフアロフ氏は外入派院――府内元町トルコ入洋服商力 外人の赤誠(大甲」総後の

「経面風林里金銀茶」では十年前を 水子の狂言 「同花」水

未來永劫に燃え續くこの火よ 大邱ガス火入れ式 大邱無電局 開局式舉行

み笑

見事なッ

ä

慶北合同無盡 陣容を整備

農振にも一役買ふ

上げ

に限るワー

評判です。

溢れるお化粧は、

スマートな魅力の

レート化粧料の仕

ての機能を充分競弾すべくその機

金額を救護期望に散納して貰ふと の意思により差引争戦に相答

次の通り(括極内昨年阿上、単位 【銀度団】十一月中の港の移山は

引きます



雌々し涙の萬歳

次務園船場里の田性調料指工場か に大撃で客を呼んである

皇軍慰問煙草

幕者四日現在早くも道内各郷の割 を贈ることになり一般に要集中国

平壤驛々手殉職

慶北道内も

愛見の遺骨を抱く父親が

沈痛の見送りに音頭とり

赤心のお餅搗き

豫定量突破

大邱直轄(二七二、〇〇〇包)安内各田登所の観賞は左の通り

蔵する経況であるが大馬地質局骨一番観で入換作業中跳つて軌道上に信禄皇一 一五六 CCCもnsy 人は三日午後九時十五分頃務内と 宮穂殿一、「五六、〇〇〇包を突

韓落、無技にも問題を切断され即 れて雑二階に贈り回日午後二時報 に居住する叔父園等安治郎に守ら 死した、遺骸は四日輸二浦明治町

慶南道でも

由分けとした事質を擦知されまる | てゐたが四日御用となつた **夫月十六日我同里金萬廟に酒を奢 │ 電信局の間局式は四日午前子時か** 【鉱南池」碑石里一根永樹ごは 城面新岩屑に新設された大邱無線 【大邱】去る六月廿一日益姫郡職

時計を入質 友人を瞞し 二日居門警察署へ検閲された

- 20クローム説時間(十五冊)を「食堂に上職知事以下官民多数を招 つてすると称しつれ出し酒屋でメ 昨取三回で入資して行力を順生し | き些大な披露乳を他した ートルをあげたのち会が所辞して 列して現行、引録き正午より府公 ら麻生釜正分常局長以下關係者緣

スツキ

ا ا

支店出張所を増設

軍事救護聯盟で

近郊の指導部落とタイアツアして 七五三編を府内全部一手に引受け 市價の争順で提供したうへ需要記 【報度部】府の軍事教護聯盟では 七五三繩を買る

いつた案を建て、それぞれ関係方 南浦港移出米

ピッタリ密着し、異から自然の様な 粒子が極度に微細ですから、お肌に おつけなさいませ。レート粉白粉は し、レート粉白粉をお好みの流さに ートクレームをお 肌に伸

其に、 くつけて、 櫻色にボカシ、レートロ紅を愛らし 実しさにつきます――。 貴女のお顔に、桃情の魅力 レート類紅をホンノリと と、美しいお化粧が仕上つ レート層墨をクツキリと

となってある

元來五斯中海と云へば、廣い高

統の晶質や製造法によって一定しれるものである

石炭瓦斯であつて、その組成は石 | 配送によって全身の組織に運搬す | 競滚と舞台して酸化血色素となる

一體燃用五斯は石炭を乾部した一つて外氣から血液中に採取され、

ればすべての有罪互斯、

金有物 含 有 趾 かん かん 数 四十五・七ント は 変 エバーセント 壁 紫 エバーセント

ピソと成素と緩慢して酸化能負素一あるが、その特合概能はヘモグロー

ષ્ટ

心色をした蛋白質と結合するのでしたなのである

配色器へモグロビンといる。赤 | 組織の酸化機轉に利用されるそう

一類何たる庭置をとるべきかといふ

然らば中毒無義が国た場合には

はその中に食まれてる。こて血色素と配義したり、物系の | 然らは中間患者を確認している。 | 然のでは乾燥の大部分 | 後へくると響も隠れ血色素は分解 | て斃れるのである

が、酸素分雕の零に近いそうな組

ことで、最後には心臓麻痺によっ

して一酸化炭素の瓶作用に基くの

朝鮮陶

磁器漫筆

とは、すべて生活量といふものは こ」で一寸説明しておきたいこ

山二郎氏は『朝鮮工藝の性質と云

世界実術全集の陰酷器職に、青一族の文化と云ふものは、何詩に場しけて來て、その葉と面と親と色の

合でも、支那を到れとして競売の

を、朝鮮にパアツと打ちまけて見

したことは事はれの事實である

2月的にこの燃用五騈の使用の脱一化機棒が行はれてをり、生活組織「鮮民族には、其後の獨立的た文化」朝鮮は支那を學ずと云ふことより「せて行く。朝鮮はびつくりして、 は燃用五帆が使用されてゐる「ることは云ふまでもない。機つて「の一部落であつて、隨つて朝鮮氏が関では自殺の手段としてし」れゝは邪息して生きて行けなくな」と云ふものは、元來が安那民城中

はしばらくでも酸素の供給が絶た。形式と云ふものがない。朝鮮民族、以上の力が無く、その気めにしく 人間でも何でも、絶えず體的で酸」ふものを考へて見ると、第一に弱しせられて來てあるには述びたいが

遂に自畳出来なかつた民族である 〇で博け者で、入と來たり極く良 | 溜息が出る。元々咏嘆的で根が〇 の技術に描し乍ら、さらい、 に支那の工藝技術を機断した。百 いから、他に数種だけしか頂戴田

りこの技術の追求。名人領資と言一戦中だがその徒も無過越だ良好、 たことになる。 的な積極的となって、決世我々か 手を出きなかつたと云ふ事が、 米ない。だからその頂戴した数種 技術の外には手を出言なかつた あされた話ではあるが、語のは引練三気都府立病院に入院加 ◇……『距離が残るか、残らない た。諸天下の たつてある。果様宣都スター科長二

選付ンロサ真寫鮮朝

つよりうるつき壁つてらる、彼ら一の骨破は釜と能える一方で流行の○…・スパイ連甲がロンドンをこ ゴードン・ウオールはこのスパイ なかづたといふわけではない。し してあるのだが刊分深ま二種に 郷を募して、削者の郷に稼働を や何の舊は外針的にはもらを疾 か 一つからかの點であるが、左項二 かり、一種のエネルギー、からい 三日退院した は最近のドレスの部案を察して、 スパイ戰こいつても これはおしやれです 『王様たも』は自分たちの複特の

物

#語

の調が的流行の機能が殆ど到ると 地に 送るのである、植民 地では ○……或る流行店はショウに招待 『ロンドンからの最新流行』と維打 ころの関に現なれてるも かないぞうにしてある。何故とい する数を翻張し普通カードにお友 造をお読む合ほしてといふのを書 つてその友達といよのが何人であ

それらのノートとスケッチを植民、デザインを振るのに躍命である

特選第四席

作るのまで、それから変質がは私のギル集のを外機の勝利氏

(日本味のラギオー ○分佈曲(宋)米川女子▲○分佈曲(宋)本村新人八時四〇分佈曲(宋)本村新▲八時四〇分(宋)立松房外▲八時三〇分(宋)本時本(宋)本村(宋)大時、一次(宋)、北川(宋)、北川(宋)、北川(宋)、北川(宋)

|をもつてゐて、配色紫に對する化|でも、聽露吸入を行ふと死から数

學的規和力を飲密上りも選に騙く

ふことが母來るのである

後化血色素と連つて斑る安定た化 化炭素血色素を作り、このものは してこれは配色法と話合して一般 いと云つてゐるくらゐである。 或る學者は能薬より百四十倍も強

京城にふえたガス中毒惨事

明鮮のやうな「フランスの作家ソラの死も、先年」酸素は生活組織にとつては少しも

亡くなつた花井京蔵博士の不慮の「壁子ことが出來ないものであるが」
睫状内の 空梨のそうな は来分服

といふやうな可能反應には治する

この酸素は絶えざる呼吸運動によりの高いものと血液とが接続する時

彩見販売に陥るのである

組織への破棄の供給の進動された てしまへば、丁度呼吸運動をやめ

には直ちに雅どすべての血色がは

なぜ中毒するか?手當は?

酸化炭素

歴色素とたり得る証色素の量が減

然素配色素と聞き變へられ、酸化

・吸収しても酸化血色素は一酸化 度が減少してくるのである。 一般中に溶削する酸素の湿度が帯し 化粧薬と血色薬との結合する量を く、質量作用の法則に疑って一般の家息狀態を緩和するなかりでな 質量作用の法則とは、要するに配 収々に減少せしめ得るからである 二合組を出して見せた。 「どうしたんだ」

するとか、兵襲水を注射してざる 少量の総領瓦斯をまぜてやること るとか、その吸入せしめる酸素に 意味で、アンモニヤを吸入せしめ とか、又は呼吸運動を極んにする て中張県著の韓を温かに 門言、茶碗を用せより ある要様の中へ、その二合語を入 を中へ入れると、火紙にかいつて ほかの漢単に載つかれないやう

北色素が 1酸化炭素配色素になっ

、蹴することになり、たくさんの てくるわけであるから組織に對

の極素の供給能力もこれに從つ

よものは不思辨が作覧「手角である、なほ相常重職なもの」れりくも鑑賞しなければならない。 気をの機能をない、気を吹入させることが先の第一の「無臭のものとなるからこの鑑なく」 と、直もに窓を開放して新鮮な空 この特有の臭ひも土に吸収されて 中の瓦斯管が破れ、瓦斯が地を逐 認識できるから、中毒の危険を未 たども効果がある の五斯の漏洩に對しても、すぐに 然に励けるわけである。しかし地 して洩れてくるやうな場合には、 何 瓦斯には特有な媼い臭

ものだ」と云つてゆる。青山氏の 自然と支那に指行かないところ い。当して機能に到らなかつたら まで到らなかつたと言ふに過ぎな て出来なかつたのである。機能に一かりである。 何ものかが出來上つた。これ

はれるかも知れない。 解説は一寸面白い見かたであると「様に語るだととは、御郷が概でも した織の袋に包まれて、

朝鮮沙鉢が、一躍して、天下の名 に、創造されてるたことは精くは

はないが、本朝に田来た、続き物 して、李朝物を絶謝するばかりで 私は、幾川、御氏等の北に追院

平々凡々士をこれてゐたに遊びた。 が、如何に茶味を一段と深めたか

利体の茶道に叶つたかの朝鮮より

| 強き酸きを以て種りに練った作歌|| 変けせて異れるのだから可笑した|| 魚壁で店先の共疏か、敷着を張ら|| 物が入ってゐるのに、蟹して如何 か朝鮮のせともので、従世我々を一器に成り、時の茶膏に重複され、一立訳た茶入れとたる可手朱代の逸 知る概に、一つ一つ、新しい騰賞、今日の名物ものも、あたらオモニを見れば見を観。共の數の多くを一方にも、名器や、進物を見逃して |た荒者 武士の 面々が、跳縦に際 | てくれたので、今日、四百年を版 が田来た。質に立脈な申し分のな」かも知れないが、喉光は義致公に | 英を競見し、認識を選くすればす | - 運に繋されてしまつて、今頃で る概に、縁はひの住さを知ることは、影も形もなくなつてしまつた して豊公へ即土産に拾つて闘った。来する名器を拾ひ上げて来たので い物が、朝鮮晦王の無自畳のうち|茶塩に唐物、茶碗は高麗と数へた 今は昔、文経の役に遙々出陣し|標物を掘り出す目を教養して置い

飲まされて心にかつたら、武府の の御手前で苦い排茶を、しこたま ある。思ふに、當時支那方面から つた。よく此の搭軍連に、李朝の 太陽さんの御風魔取りに、利体

●數ある中に、これならば

と首肯出來る優秀品

殊态

台格**治里天然堂** 別有希鶴水園(離/建)

○治春上ラの琴進三王

昭和の常識

ある。電燈を消せ」『これだけで足りるかな』 首ふり酒 た気持ちがしなかつた。 混田は、郷の田来た一合理を、

首を右平左に動かしてゐると、 ているんだ。 眼を閉ちて、能かに

動かしながら、私と選田とは、 一口飲んでは眠を閉ちて、首を

交互にそれを機器した。 つの間にか酔った基分になる。

で蹴つて来たんだ。

さらいつて、彼は挟から正宗の 銀分を追ふのであつた。 つとけながら、いつまでも陽離の でもつと首を振れるもつと解ふぞ! 暗い部屋の中で、二人は三合権

一に電燈を消して、廊下のスリッパがカラになっても、まだ首を振り でうん。女だちの入替親ひへ行つ 思ひ田である。

養鷄及家畜飼 所在地**开 露醬語画 澤浦精米所飼料部**

朝鮮おみやげ

會

低利貸出:迅速有利 京城府南大門通一丁目十 朝鮮信託株 九番地

多喜麼

X 業 素 成 規 浦



●今日は一人が重いボンヤリする 海 一や秋経 通まれこんな時に 「 東京日本橋區兩國二十番地東京日本橋區兩國二十番地東京日本橋區兩國二十番地 7*0

齒面を芸

らさず・

虫歯を豫防する=

毛髪を表すれて、 艶を増す

本品なら手早く面倒 なく沈髪が出來ます。 量分の函一

洗濯ソーダを含まぬ 高級 洗髮料

落ちがよいとて 医双大侧人 金三十八

た際な光髪料が有いないである。 を失ひ、毛切れしを失び、毛切れしを失び、毛切れし 軟性を増します。や軟や地脈を辿してや下がが響いたなくがか響いたなくなる<l ります。

洗髮の後にはミツワ・ヘヤー

トニツク

一、啓明會事務所制。五月、東京・碧町・九月

ひつくある際だがこの最悪の既歴

られているか否かの外科試験を行

問題となる

を想像するとしてもたとへ表情神

經が切損せられてゐる場合と雖も

上海黄浦選路二四、日本両工会会がソフレット臨時線)非真、合がソフレット臨時線)非真、

時日の間にこれを啓聴に使するこ

東京・芝・南佐久間町ニノーへ東京・芝・南佐久間町ニノーへ 麹町・内帯町一ノ三、東洋協会▲東洋(十二月號)六十錢、東方

は貴連りの長二郎の姿が見られ

・ は貴連りの長二郎の姿が見られ

・ は貴連りの長二郎の変が見られ

いょのである

洋畵ニユース

▲新領主(十二月獎)三十銭、市京・中野・新井町大通、アオイ東野・新井町大通、アオイ東野

イト主演の『間諜』は世界大根サヴィル作品コンラッド・ファ

画、東京·韓田·

▲列程の敬晴経済政策(アクシ

▼ 全国にひらく、無の文(和田那坊) 本産にひらく、無の文(和田那坊) 「一種、東京・日本橋・通三、春港

手町一、保險政策研究會)



最高所作の倍額豫相

本のだから取が切して りきしたが、火助と言われてると の大に於いてもボロイ 中村 なる難し記 の大に於いてもボロイ 現で村上大助、筒井小原太の項 の大に於いてもボロイ 中村 なる難し記 の大に於いてもボロイ 中村 なる難し記 異市場に於いても危い。 う、関コの名言はネニー・ま、然とは質駁との事である。 言ひ、版でなった夫婦ではないか

・資本た連邦が普成行し、して別れる事にでりました。域で、傍へ落つて来て、感謝の象表ででいたいと熱師は強へない。」と、別名が表のを身動故、未続なから、たりくと言ひながら、村上大助の鑑託もしただ然い相場、 し何分大衆の多身動故、未続なから、たりくと言ひながら、村上大助の鑑託もしただ然い相場、 しゅうかん 田工家た男子の選託もした (大) とこまると、する水土の内に関われて下のでいます。 の今年の相場は常識で、外れまで十河民部初め門第が大数。で大助の頭を蹴らうとする、大切用を迎へると云ふ始末 外れまで十河民部初め門第が大数。で大助の頭を蹴らうとする、大切用を迎へると云ふがは、 ら、別れの辛らは身に一しほ、然 して別れる事になりました。城下一

| 「おない|| 現に今期後り 民 『さらば特上版、前非版 訓練 務確の眷の慶之進だ、ヤツと打下安ないと云ふ者が多い 送つて楽る。 | 目を細く開いて見ると、家老松特 傍へ寄つて来て 範囲の変見の方 た!くと言ひながら、村上大明の 目を細く開いて見ると、宋老松将

Bとなり掘となれば云はずと知れ いふ略に、二十人ばかりの武士が

名 11·00 pi-40 自くござらん、どうぞ大助とお呼ては何となく恥でがあるようで面

び下さい、又稿井とても揃者の弟、 た親子の仲、其の仲に遠慮があつ。パラパラッと現れて、八方より頼 つても名残りは過ぎないからと云 失張り小源太とお呼びでさい 矢張り殿を附ける、何度まで行 『然らば大助……殿……』

りますと、行手の一匹茂つた森の巻ります。丁度松並木へ掛つて参 大助、小頭太の個人は道を急いで 一骨が折れるだらうと、心能になる 一殊に小説太は未だ説前が充分でな る者が一人居ると徐程派脱にたる の脚負なら、源内如きは大助の暗 源内といふ大概が活る。一人さる いから、斯く大蟒を相手にしては 相手にして暑る中に、源内位田米 ではございませんが、斯与大祭を へは十三四名掛つた、中にも基礎

大『小源大様で、延久の昔游義家』るのだから、村上大助は館る苦敷 でございます、段々後へ後へと逃 から小源太を辿りながら戦つて居

中から、バサくくと羽叩きを

して小島が摩山飛出した、大助ピ メリと足を止めて、

01-14 09-42 01-14 09-42

かので、麦で別れを告げまして、

つて來る、又小原太の方でも後へ

金永商會 林城寶

のボク人(は云ふまでも
も提作である上に相
も提作である上に相
は近極に高いので (41)

蒲<u>*</u>生生生

#

俣茂州尚

一龍齋貞丈 演

大は愈を用立をすると云ふ事にた。丸は中りはせんが、二の頭を避け、大切で村上大助、筒井小原太の廟 大「コレ小原太、飼れろく」、場ので村上大助、筒井小原太の廟 大「コレ小原太、飼れろく」、場

小「ハッ」 と云ふと、小原太も倒れて丁

一て大學を相手に聞いて居ります。 || 入説んで切つて掛る、ソコで大助 小原太の朋人は、背中合せになっ 小源太の方へは上八名、大助の方

所我々兄弟に聞を含む松崎路監裁 〇『ヤケ佐帝此の泰半の世の中に と突然間のやうたまで、 合つて了ふ位でいざいます。スル 接へと辿るから、背中がピタリ

子、星が●口等の観が欺し詩にで

り勢しく島の立ちしは正しく彼の

内に伏勢あるに相違ない、発する

公が後三年の役の棚、立つ鳥を見

て伏嚇あるを知つて大いに勝つた

といふ側がある、今彼の森の内よ

もなさんの整備に塗ひない、油酸 で、自要競技の形状に及ぶとは何もなさんの整備に塗ひない、油酸 で、自要競技の形状に及ぶとは何 鍋しから縁柄で叩き殺すぞ。 ガラガラソといふひどい物音が致 事だ、止まれ、理由は知らぬが指 と云ふかと思へばガンガラン、

氏 (四 日) (01+001 建 <・40回 (01+001 程 < 40回 (01+001 E < 40回 (01+

をするたし

小「ハイ・・・・・ナト兄さん、田で來

たった(四 ロ) ・カル・スペー・大型・大ス ・カル・スペー・大型・大ス

タリ大助が倒れた。

しました。

耐人銀口を切つてハツタと睨ん



大上海を壓す皇軍の行進「III、南路III」航空便

刊村、熊政場合地に機能を加へ軍

字爆る威力を發揮

勢をもつて、南京城を国際攻撃

武茂野秋父の運山を望む景色にそかこむ地僧、鶏光にはゆる模様に 一個の 開側に は屋根の 低い家が立一つくりだ、太 平門を 入ると支 那

がある、まる八月十五日第一回海一たところだ、住民は殆ど謄雑して「臨所に見られる

肚な植物だ、街の東北嶋に照行場|軍進洋部隊が最初の場群を見舞つ

しまつて一人もなく配選振死機が

感冒。唱級期

んとする随軍部隊に協力その全

機能を取行し更に敵退路を調

げて南京附近の麓原地に国

時投設──11年航空隊は本日被竹 | をなした、この遭りは既に南京を 上海六日同盟」艦隊製計部午後一瞬の薄氷を踏んで何春に一番壁

金融として知られ、古の楚の都

の数を辿ればしこくは古名を

京と解するに至り、それ以來や 、食儀の狀態となったが発車の に逐都、北京に對してことを南

しかるに永楽帝の時級京

段立と共に著しい穀渣を遂げ で再で示気を呈し、数音機器の

しかるに第一、第二の開度の革

運命の都南京の盛衰

た市家の荒峨夜耳の都と化

光化都市としての鍵を 人都市建設計畫によっ

を疑めため十分子にわたつて対

型の世の智ひを解唆せしめたが

の登ったる地域が、新泉洋の脚の全々たる地域が、新泉洋の脚の大道路中山路に泉東

て恥せられるのも時

ろしい

つた「抗日亡民」を戦令した首

犯者が今にして担い知 たのである ◆◇…・夫いで清明が組践すると

ことに国民政府を樹立

<u>ځ</u>

面別な一壁した、屋

き南京コール 工事

験を誇る音都の国際はなほ失はた

- 連命の都市京の発品盛食

れる関ル線を空襲。午前九時中一ひ何れら殿に多大の指語を與べ 日も引録に随主要が地軍用軽線と一二午後一時頃間東郊外飛行場

廣九線爆擊

に入職処の群が勤えてゐる、有る りめぐらされてゐる、太平門北側

日中に南京を脱出するものと見られてゐる 【上海六日發本社特電】 孤城落日の南京城の運命は愈よ今明日に迫つたが 東南方にお ては、わが軍旣に城外一里餘の高橋門に進攻、敵の大部隊は僅かの守備軍を留めて

【句容にて六日同盟】 强行軍をもつて 一路南京進撃中のわが軍は上方鎭を一擧蹂躪に レ六日午後一時頃先終 部隊は南京東方五キロ高橋門に殺到した

南京市内に大火災起る

【上海六日同盟至急報】六日午後三時半空中偵察によれば 南京市内に大火災おこり 冲し凄壯の光景を呈してゐる

【上海六日同盟】今朝來南京は異常な混亂に陷り全市は忽ち戏嚴狀態に入つた 南京全市は忽ち成嚴狀態

無拗も隨所 に火災地る



新事態に對處すべき

天群六日同盟一天北方面の情報

日暴露 の偽装

て解消されるにずである。

治療と豫防に

婦人冷え込みの

今スグ守妙を御常用下さい!

世界にある。 回ち諸県政 政府を解消するに方針、流地方政権としての数 で新政権の成立と同時新政権制建・団迫する。

ť

照復祭の歴史親日は危より日来方面に遠し た確和

懸闘し、各所において

五三二一五二十十十四 間 間 間 間 間 間

定便

重要會談を遂ぐ

英代理大使上海へ

がは成立以來既にニケデモの問國

しかりに角取消撃の気勢を助げて に導られて支那軍の質力を適信し 収事三略軍に今ら南京のデマ放送

で正午過ぎ

財育した、午前中の

重 て重要合談を遂げ午髪を低にし

三者の意見は完全に一致し所定の「は香港總督、ヒユーゲツセン大便受育畝の結果新事態に対菌すべき」贈で上海に向つた、香港において の此に向つて推通すること、なつ。は宋子文等と合言した |「資電大日同盟」イギリス代埋大使 船で上海に向った、香棚において

【十字舗六日同盟作派員竣】神出鬼沒の長野、山田兩部隊は丹陽湖西方の水湯鎮に姿を現し得意の戦 朝には忽然と丹陽湖より蕪湖に通する水路合流點に現れ蕪湖を東方十キロ

脅威しつ」あり難湖の敵は續々揚子江を渡り北岸に向け後退を續けてゐる 南京陷落迫るの報に 與河南岸 帶の敵大動権

東省を壓して一舉濟南を屠る概を示して 暗雲閉すこと二旬餘りわが軍は完全に山 【徳州にて六日同盟特派員發】山東平野 大防禦陣地を築きつゝある

に飛翔し南部山東省唯一の政治、軍事の中地を飛び立つた中平部隊の〇〇楼は鹿足を 確ひこれを埋撃多大の批訴を與へた、即 《〇〇基地にて六日同版幹派員頭』昨1日午後わが〇〇根個

色を見せ、黄河南岸の支那軍は新に専阿 那軍は南京陷落近しの報に著しく動搖の **ゐるが、濟南を中心に黄河南岸一帶の支**

(泰安西方十五里)泰安、萊羅の後方陣地

膠灣線北部に、

黄河南岸地區一帯に

南京陷落と共に具體化せん

支端端端の歌末隊に聞いてゐる

みるに至るものと信ぜられてみる| が國民政府自盟においても將一派

翼東も合流

窓を知つた今日、日本の威力

は、現實の敗散と数米語図の道「会る、勿飲作日分子は敗地にあった今日、日本の必力と優か助かになった今日、女那を、て長姉抗戦を飛すってあららが、窓が助かになった今日、女那を、て長姉抗戦を飛すってあららが、

八頁夕刊六頁

是非御用意あれく 五十億三十億三十億 守 聚替泵京二九八五番 泉京下谷油之端钟町

この概士は眺あらう全党を引 指揮をかけてゐる間店を目から三丁目を通り破末

是あった「貧民」前級 **処企水戸被門式に行脚し** 土は成内の具物を終っと | ら城土の後数を眺めてゐ

中にはたんと直接の正

受難の冬です、効目 藥 効 優秀—

シの特得サック

知の高歌者

- 量行きの電車に乗り終

◆今座はテクシーで本

○全観各類器にあり 實丹本儲 守 田 東京。大阪沿兵術

る▲配色の好いその老料土は選

機へて昼塵症前で下車▲ス までの切符を買ひ勢化門で までの切符を買ひ勢化門で

別館を約一時間に耳つてた、老師士は辞々高歌者

変して行き

ぜんそくに

五日午後二時頃大和 五日午後二時頃大和 スに乗つた六十歳前 スに乗った六十歳前

組對に中等の恐れなき

ミョウ

人問題で

と 融軍省は
府來起るべき 展を顕調し次の如く述 見においてアメリカ軍 談

●こんな時すぐ守妙を!

言れてゐる

~ ぞつと窓根を閉じた時

遊館遊費削削のする時 四學號阿旋行性點回

山西省とはどんな處か日

てに次線 員派特田松

ラサエが州資

第二ラサエ創立

生産後れる

質現は明後年

を残してゐるので機能

つたが、関係内地生産品:中種撒| る活況であり、住向地を昭和七年 に於ては僅かに六萬國に過ぎがか一座品輸出額は月職數子萬國に達了 人組織物に輸出額は去る昭和七年一皆無となる見込であるがしから

のが本年に至っては題だしき増加に於ては僅かに三ヶ間であったも

標督府水産課度形に依れば朝鮮

明べの大群

仕回地は三十四ケ國

れを見て三大熊南事業をモット

間に合ほの釈迦なのだ、これ様に

るが、由西人は自分の土地が維地一旦無遠識だ、難行軍能の中にも皆

在南は支那随一に置かれ石炭、路

農家さへも豊かなる構

に小婆、棉、牧務を楽職して何處

を支那の地間を掛げただけで山圏 **九** んた食か、未知の人々。私を見て三大極電事業をモットー。同に合は血経歴なのだ、三直響 日の駆蛇山西省とは何 へる鉛酸さであつた、開発由はこ には特勝く、軍の通源と此些。

|南は大東河の流れに包まれ北は萬||起し、一方には賭博や師片を禁じ一であるだけに省外の指揮すかをい一いたが、石炭だどは何度の山から **狀態に僅かれた、所謂山西モンロ** 僅かに黄河の分流石河が中央 市殿の敵を堪になくの段閥(怒を現はれて闖の撃力機大きだる) 哲人に刑罪こららし、と物形でと見る者に内骨古に持し、建一て各族終緯を開いた。この地部は、今でも支那の何の省に行って、由し

の野心を起して或る時は飛作環と

暖かく

へで、壁の藤さは一丈以上のも 言い名も判ら四部路に入つ」 もっ につれて彼は中原の鹿、天王取り 別を稱へてるものが随分ある。 窓助売

何に言語に遊しても想像はつか を施たつてはあるがその人相も言 元通りとなつて来た、一番に山西 所 調をごる事家のたらひ

発 旅もが一寸手 出しが 出来 と見られてゐる。併しながら較深。拓の我付をそのま、引繼くことに資金の鮮内取入れは決定的なもの。して代行せしど著名別律のほしま 特殊會計設立まで

検索のするところにかった。 想せればなられる珠に今日の 一大部段の要因である。 似不、抗難その他について

禁菌上に生を享けたるものが、 が想の地入は大穀物である。

生物に顕音を据へよ」と云ひ

羅萬泉すべてに對して変を同

文め、蘇聯を責め、英國な

取入れ資金は一個原格期鮮友社を「行ふはず産金数金は強地以上に早 産金資金取入れ問題 く師内に撒布される見込みである

至襲を防ぐには

返り吹ぎさへ見た。戯が二十一日 時には急に寒波襲來

表彰者增加

問題の「小職者に就いて

内にあつて大體デ編は良かつたが

東拓代行に内定

て之れが強調をなさしめてゐるが 朝汽減配か朝鮮汽船で

行者派権規程によつて各知事をし

人は三百三十二人に達してゐる

朝鮮織物協會 社開法人に改組

日支事變を製機に朝鮮の各都市で

| 於いて防空と建築物に闘する事務 積極的に異難される氣理に立ち

名を駆め、六日から六日間本府に一近く法規によつて防空的建築物が

取締官會議の結論

打合社會を開雕會職は為井技師が

中心となり、厳酷を選めた結果朝一に施行される市団地計選合による

つた、なに食職中明称より全種的

|野祭部の建築物取締官三十三||遊した紅笏物であることを認め、| ふことになった

鮮に於いては煉瓦麹が防空に最も

夕刊後の市況

町幣 全寶 選 費 下 取 取 京 下 工 鐵 原 北 町 町 町 駅 京 東 市 町 市 町 町 町 町 町 町 町 町 東 京 店 高 一 正 宅 三

二銭切手封入由込墨削油品 京城黄金町六丁目(調練院前)自動車ヲ嬰バントスル洛(他ノ追従ヲ許サヌ本校へ來レ

京城府元町一丁目、金貨監督中等上

派立大正八年動朝鮮唯一ノ正式最長の各選政院革備の成大児優賞任政技の政僚完全の夜間教授部ノ便デリー生活基準の入局監察の武職部介閣の政策に超

一自動車學校

男枝武成

■京城の年末風景を探る

■風叫駄語 編輯室より **●朝鲜潮洲の**財界と事業界

發行所 朝 鮮 原 城市 蛤町四

展電及 ^四

医野龙 湖 叫

考城大醫學部教设評判記

後日支事變を正解せよ....

**(狗)ツォン・レー アス

小垣

111

(佛)アルガベ (米)ニュー: …(佛)ル キ・ピ

リ・バブリツク誌

●日支事變

概變事の人國外 ●アメリカの外交… ●日支事變と滿洲……………(英)D・B・ニップラント
●検束の風雲と英國の無力…(英)アーサー・フライアント

田立在「宿葵岩書・工球式城・藤井安正・川倉形武・矢鍋水三郎・重村養

支那事變を語る座談會

東邦山人釋尼

春

173

時事我觀

虎の門隠士

政界夜話

一般のショーラーと実定などの変更 あるが、何女会は手にのショーラーと実定などの変更 あるが、何女会は手にの姿のショーラーと実定などの変更 変更子を アる主体としてたったの目下関係方面で工作 こうじょう より帰郷資庫の方針が決定してる | ラサエを没

ル用は朝鮮も明年十月 | 方法は資本金二千五

不府々分による

道では近年明太卵需要の増加に

泉濱阪神向け 上旬の配船決定





東洋工業株式會 社京城出張所 ※新田町丁田一三 ・ サビスステーション 1736番 ・ サビスステーション 2 年 大 版 名話 2 ・ サビスステーション 2 年 大 版 名話 2 ・ 1736番 ・ サビスステーション 2 年 大 版 名話 2 ・ 1736番 ・ 1747 年 1847

岩南石岩里 都田鏡山館天一周 累計 金四萬二十百二十六國十五發 平高平原郡東 屯 | 大十三 (教) 資本が回転的 | 一次十三 (教) 資本が回転的 | 一次十三 (教) 資本が平山那復岩 京城府並不可一五一 日計金四十圓也 京城府並不可一五一 日計金四十圓也 第四条を表 日計金七十国七十八段 海田をとる 日計金七十国七十八段 声音楽部楽 也 十二月五日取務 五圓五十五錢也

久人と競争で装置をしてその代金 五十国

めて四回の国防戦争・・・・・・

十圓

朝鮮防空器材献金

りつめた上にも切りつめて二〇

よくお小遺をためたり家事の話

名音段四年生職本正昭君、李光 | へて五十圓の章・戦金が防空器報 | 心をこめて伸よく作つた駄間袋を

悪醉

アンドン ナまなも なせるお に内に書

の御用意さ

要として寄託された、また平北宜一一箇送つて來た

本計造記金

ハから献金

収穫後に残つた豆拾ひを申

意氣正に全支を蓋ふ、無敵皇軍の鐵路下に只て常熟

鰮群と入替り

■支那が反省せるRRの戦争は機から *上海方面の戦局を語る。 ・時局の諸問題を語る。

十二月號 (第三百六十一號) 長谷川司令官談 (単ケ年三周六十歳) …松井大將談… 近衛 首相

大藏大臣 賀 屋 興 宣

雄

・北鮮の漁業狀況

本誌記

足を抽ふため、婦人が各部門に助に於ては、南梁万面の労働力の不

戦争と婦人の活動能

力

醫學上男子に代り得る

どの程度迄か

軍器工器の中でも、なるべく力が 14後の車車方面を見ませ5 『母』の自覺を失ふな

婦人服コンクール



岩手同士の對戦 手自重の一二飛 橋塚 魰 Œ









可一品高附 可一品高數 部族國致資保久大 三可金苓城京 而士———(2)本市

陸地測量都發行 陸地測量都發行

白頭には地圏を利用せよ

万分一地圖 東縣教科

小林商店圖書部

人院隨意 解釋網題 院主 貞

社

ブ

•7

ケスビ

۵

半

牛 ヤ 7 レコヨチ てゆ あ づ

容

はするゆもやしゃは、ちょつと手 一窓夜水に窓

ら思い冬の間中の食草を吸一たは鑑を入れます、更にこの

もやし、の製造いか

野暮に下らず

・・・お正月のお髪

華美 に流れず

一惣

盃よげあ **这里**

社會各合造酒藤齋

書名合造z首藤熙 3

氣をよくした慶北道當局

本格的訓練を開始

年賀状の殿止▲忠年會殿止▲年

を差しのべて無事選年させようと の人々一千七百名あまりに置い手 れて思幽な映画にあるカード階級

が、今年も例年にならつて一般か

來る日も來る日も

翻栗る煽所

學童の赤誠

扶餘普校の男女生

配したところ共りも小果袋高齢科 【永四】郡の城花出題り数章は去、戦略した まり、これを京都選代義者を経ての惣共収益なをそれらく見鑑に分 永同の 稲花出 廻り まり、これを京都選代義者を経て

| 「以外」 愛院構成市総裁持安全は | 所日中に委員の近奇総員を指拠し | 場その他官民多数差別し非常な庭はいっく 法统的場所が二十萬 | て決定するはずであるが | 現実等 | 使であつた、なほ遺骨は同日年後 | はがき以外の戦時総費は消費で負 | 五時環景域の本宅に翻載した | はがき以外の戦時総費は消費で負 | 五時環景域の本宅に翻載した | 様する] といふことに高層、棒袋

咸南號献金最後の集計遂に

廿萬一千圓『達す

永同の棉花出廻り

平北土木陣に凱歌

日平均二千連の水揚げ

整陵島開闢以來の新記錄

突破脱費の大漁脱まで行つたが扱いて本年は 帝漁猟だけで

計三英国となりために

二子英国

年末警戒陣 仁川署張切る

することしなつたが、物品押費り 仁川一郎上本年も内外多端のち 慌しく動らんとする折視、

つてゐるが本年はその暖もない

満州の臥牛山で

債券賣買のコ

本品の優秀なるととは既に40年來の歴史と現今看治療界

1 一個自の際間を保持しつ」あるを以て明かなり。 品質結

パイエル 薬品合名會社 家領室に即戸本社より造基 神戸周原変と書頭 〇七章 東京 監問 名古屋 礼帳 臨北 子 地頭 丘 に 東 夏

Bayer.

獨逸パイエル製

元あれ。には多少の心には多少の心には多少の心には多少の心に

た得逸

原牛山は栗林龍井として風致を添 ギヤング退治を實施、邑内官民(清州) 駐靼、邑の東方に横はる から神肚窓内を中心に、この山

酒米こしての聲價に係はるこ

輸送圓滑化を陳情

仁川】非常時局の折橋から鉄後

となった、事機能競以來ブラッ 【七川】府西勤帯保では他來生産 蒐集を奨勵

ちかく實現の運び

部では佐藤蘭朝鮮本部理事中山直、今十三日を第州、和城、沃川、永建氏を現へ四日年後と時から公会 阿子森へ映越成を流進、左の日朝金で佐藤蘭蘭等を開催したが登记。 で予地で巡迴戦闘者を催すこととしてあつた

【清州】既釈、去月二十二日年後、あるが、これは價格が著しく脱貴(フ米の配質にも影響するので、歴

容疑者疑晴る

賀状・忘年會少遠慮せる

の贈答廢止

舊正廢止ここもに實行事項を決定

慶北農振幹事會から通牒

資本金百五十萬圓をもつて

がいて十三年

なまこ代用。モントングリー

賀醒後の爽快は 星想的 催眠穎靜劑アダリンに依つて完し

配後の爽快は 理想的 催眠鎮静劑アダリンに依つて完し アダリンの卓越さる長所は催眠鎮輝作用の顔る迅速顕者なるに拘らす会然無害。 不快調作用を参加さるととかり。従って整柄費用性の気が変勢なってと、頭内膜 不快調作用を参加さるととかり。従って整柄費用性の気が変勢なってと、頭内膜 頭面出者しては他を節を備するとなったは両師製剤中の自用をり。 部裡衰弱・盆服 田麓・不服症・心管亢進症 にステリー・精神亢奮・不安領頭・船車量強防 とステリー・精神亢奮・不安領頭・船車量強防

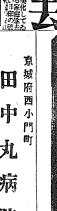
三時から役員會を開催、吉田食頭

清州】郡富昌では十月一日現在

の空 療 別法

田城 府 西 H 小 P

町



総組合では五日から照々しく総基

風に

大厦田しの商職を開始したが質上 一方稱量奇、洋服單笛、軸毛二枚續

御主人のボーナス袋は?

【成興】十五日は微投人のボーナ | 校長で二朝、関指や成興、元山、 | のご主人のボーナス袋に







冰毒性膀胱カタル

腺

凋(女子淋病)

再慢急

原

獨逸製純粋カワカワハルツ主配

ħ

このカワカワハルツは熱帶地に産するビベル樹根より 研究に精進するの現狀である 優秀なる治療成績を報告し、歐米各國も相競つて之が 一新紀元を割するものであつて、獨逸國に於ては已に ワカワハルツの出現は淋病(淋毒性尿道炎)治療上に

抽出せる樹脂で殺菌、局所麻痺の二大特徴を有し殺菌 楽として理想的のものであります 我國では弊堂率先して研究に着手し、純サンタロ て精神を安易平静の狀態に導く」特異性能は實に治淋 外敷種の原料薬を配量して相乗的にカワカワハルツの 「薬效は病原の核心を衝き、反應は肉體的苦痛を解放し 作用は淋菌を倒してこれに侵されたる尿道瘡面を早く 効力増强に成功し、茲にAトリ 局所麻痺は排膿時の疼痛知覺を鈍麻する、

く提供するものであります

急慢性淋病に

0

用

るものであるが、この症狀にAトリートを用ひると殺 時の劇しき疼痛に加へて精神上の不安が伴ひ不快極ま 菌尿(藍青色)の放出に附隨し、 急性淋は膿の滲出、 灼熱的尿道の炎症、尿意頻數、排尿 尿道粘膜に局所的麻痺

> 尿道内に一淋菌が殘つても 海病は治つてをりません

効薬を識別せなければなりません、之が淋 から治療に際しては徹底を期し、正しき信念を以て有 總て物事は努力せずして完成は望めない、 決定的のものとするか否かに係る重大なる もこれと同じく、熱心に行へば必ず良果は あります する時は忽ち繁殖活躍し、一層猛威力を振ふものです 分裂力の旺盛なる淋菌は僅か一菌と雖も尿 結晶する、 道内に殘存 淋病の治療 ボイントで 病の治療を

驚くべき症狀の良轉を示します Aトリートー週間の服用反應は使 用前に比し

疼痛を制止し、尿 効力は、淋菌の發 道深部に滲透する 鎮靜作用を起して

氣分一轉して明朗化し治療は快調を以て進行する。 育を遮斷し、膿の分泌を輕減し、炎症は消退するから、 慢性淋は出膿、疼痛共に淡く苦痛も輕微であるから、 リン

往々不攝生、暴飮、過激な運動、時候の變換期等に於 に移る循環症狀を行ふものであるから患者の恐怖觀念 て突發的急性症狀を呈して再發するが又漸次に潜靜期 婦人への感染、淋毒性諸併發症(攝護腺炎、 たる慘害を招來するのであります に弛緩を來し、治療や手當を打捨てるが爲い 淋毒性關節炎、淋毒性膀胱カタル)等は概 ね之に原因 遂に慄然 副睪丸炎

須であつて慢性患者の惱む濁尿、 するから、この症狀にこそAトリートの服用は肝要必 水年治療界の宿題たりし慢性難症にも奏効 尿中の淋 糸を處理し の光明を齎

> 薬店に販賣す 全國海外到る所の

文は小爲替封入して申まるゝ方は藥價を振替 込下さい 朝鮮及講溯に送料四十二般密送は其旨を削陥着びます

百九十二球入(卅二日)

十八球人(三=章) 四十二球人(七=章) 金:1円五十隻 九十球人(十五=章)

A 價

の病ンリ

町工大船島堂區北市阪大 番〇〇五二阪大替振

舖本賣發 製 堂大盛龕

A TREFT

脚所動です。健康衛生には特に に り最後まで 倒れずに 衛軍衛

上帝兵の遺作はモトエ未亡人(元) | 見送り人の多いのを娶んで居たの

勇士に劣らぬ働き

將兵の時期と慰認の的となつてゐる 次の天使々としてベッドの勇士たちの邸心を慰め、鬼をもひ成ば別兵のうへに赤心の織手を言しのべ気高い博愛の寮仕は の際に送られて北友第一級に用作し既に野職構院にあつて戦 - 月一日午前十一時五分草城県諸列車で府民の萬貫の如言語―― 中島からも赤十字毗新鮮木部所屬の教護班四十名

たちの様々しい発性と所謂ぶりは続後の國民にも感謝を與へ

肥のなど薄さた、せるにす分である「女時に京城田陵の鉄能地」造られて家た左の第「回報督修は人々の謎をそ、り利な城跡と時を暗った……唯一誠に近下來なの一念。野覧前院から朝鮮本部) 原則应を近り、また道立水原特院飛鴻崎一同、鳥教院資料女屋校

を秘して從軍

救護班の初報告書

つたのです(中略)取場で困苦缺 一段して遠く戦地に衛化して居られ

新年切手と一錢切手



『田の射神機職員運輸に相呼略し、神政弘の作品を一般原民に知らし、的帯公の職を致す事を継続として「東京部語」時間に貢献して政府(我が挑散なる困難の本資に基言数)め、そその本分と職とに順じ實践 **心野観太郎。佐々木行起、吉田茂**

照宮様の御延辰

孝宮様には御全快

氏の外数十名、水野、青田原氏を

| 東美添い数を表にすやちになつた | は顕れた機らも質まけの形である | 空軍から機能されて千三百餘の死が、とこに | は顕れた機らも質まけの形である | 空軍から機能されて千三百餘の死が、といへば黄郷江に買した上 | 女の、入り離れた戦戦だ、支那に | 近とその歴上、四男路これも支那

上海にて 後藤 本社特派員

上部の夏英市場といへは、南京、佛祖駅との寮駅線)等が、冬も延

巷に氾濫。街の女

海戦線報

畏し御内祝宴など御取止め

「宋京電話」女子里教院前 「宋京電話」女子里教院前

敬神奉公會。生る きのふ東京で發起人會

の先生が二、三十名の生徒を引

茶屋群といふ小さな概を通

既何局では年登城前きの二銭切手を十五日から砂賀するこ 一足お出きに十一日から砂夏(私民上は一銭切手下は二銭た掲載の図を扱象した紹刈りの開業は一銭切手で、これは と
「たつたが、
性連飾りに
旭光を
開した
お目度い
意匠、
ま

|有脚線の15の今年の記録企立前環 | 同年非常に手紙を得してこるの。直接所以へのサービスと、商品報 | 一般作民にサービスするもの。 二百四十餘名を動員

三日間にわたつて京成全市に見本一に立つてタルへシを扱つてある主

想ひましたら私雄の務めなどなく 既六十名では我野で六ケ班百八十

ました、そこで官を式が行はれ でもありません、夫と別れ覚見を の第一線にたりゃ自衣の天使+の

な長昭和十三年度の教護者護婦一來虽軍の漁職にもまがふばかり

漢江凍る 六日うつす

いづれも前人未踏の興味器る人

心に白馬、遣日輝を迂回す

朝鮮人初等校長

芸年に比べて「十六日も早く 牛島人の赤縄を物語る溶財は慣れたいのでとれられて七十三萬八十四でとれられたいの場であります。 月廿一日の鍛起人會の席上で一萬一般納運頭を起してゐたが、去る九 の後起により「愛国権水原統」の 愛國機、水原號 「萬枚を各支部を通じ」高一千餘関に塗した 更に引續いて海軍機 四日が十一度四、江日が十一度四、 六日十度二の順序で昨年に比して

あるのを鑑道事が發見、西大門署

「果京支配題」中央朝鮮協會でけ

一种、水川新藤原林川及を投げ

6大特徵 東京•銀座•泰明小學校前 振聞口座東京51330蜀

新聞配達人至為募集
十分版於200者
中外 術 新 新 報
中京 城 友 局
京 城 友 局

(() 定價 * 143 * 109 * 29 の三種 舶来レフを凌ぐ 一件田油會

速寫ケース附 定價 198.00

献金しませう その代りに、門松短冊、

砂見は確かするでその労員を「蛟」和までは中島日本書を役名になりを禁止的には現在二百七十二役の「から安置されてみたところ、淮県京は多くとも遺行を役割の「京都道的には現在二百七十二役の「から安置されてみたところ、淮県

スケート場 昌慶苑にも

各地の寒さ

自州 等下一四度

塵箱を道路に出すと

一般に午後四時までいるるがスケー し、李王敬では例年の通り各種設 ため昌隆碇の祭坊池も完全に便精

母年門は下かけるお金を検討。そ、て関助戦争しょうと云ふのである。知事門経費や下来略して、関となりこの可能な結蹊を前続し ル限科の内田地震の原体士等が提一とみて全国的一千萬戸では三百萬 「時局構無脚を搬しませり」と、一て送つた、なんでも短冊門接管の

昨日から公開

無山鐵 阿三四皮 柯 ▲白茂線 福坪阿 零下三四岁

緻

u

却公告

本意思が記事門の

ロダ齒科

京城本町一旭ピルニ

园上產婦人科50 展學與吉岡上科吉5

た柳病・島崎病院の科学が

に限り特に受阻にて提取す場所の単位就動産

京回無内

如何にも非常時に相極しい新春の 上には初日ノ田の二見ケ脳の静の代りに短冊大の臨個紙の下に松 に『取勝新年』『武道長久』『胸 納された愛国博、高別権闘約、既郡、曹泰署等を通じて並民から賦 事製態競以來京陸道及び管内の府 百四萬一千圓 京畿道管内で

半島銃後の献金献納

空器が数で具軍原門命に合計百四 料、空地の清掃を實施し汚物が除 ために京敬道では三、四兩日を加 掃除令で罰せられますり

事となったとめ各家庭にあつ

一萬枚。婦内の食員にそれんく一

各野共に衛生組合と魅力一致して ◆班水總社會原告開文 去る二日

令の能配を削する事になったが、┃に輪をかける事となった

為字

たは現金の外に船川袋が十一萬四

中村藤吉本店中村藤吉本店 (P. 格茶以

五十八圓のウネビ謄寫機 は本機の性能は數百圓の がある。 等下 沒有 利なる事業科科と職 電腦不過三人三三

探用 門際北朝館の名 京城福町一丁県 城 川 門際北朝館の名 京城福町一丁県 城 川 川 県 北 中 居 30人間、 東 北 中 居 30人間、 東 北 中 居 30人間、 東 北

本町署の歳末特別警戒

那の財止にあたり、萬一事件が強 らかに眠れるやうにと必死の中に~脱牧の英雄~となつて他 敷く、と子為府民が枕も高。

た場合は電光石火の捜査概を一登成である

◎特約店募集◎

進を描てくるる、本格的聲或に予 期、三段橋への水も満らさの非常 十日から1十五日ま一年一期

FRE© ¥ **58.00**

漢江は氷の硝子張り

合計、金の田人の祭しい所には武 心臓師の瞽瞍にあたり主たる銀行 東員三百名を納職員 真城の

その主、難つて女特なかく りまくねだって『桂月』の名を

逸したり

局復面道人

Bosch (

同九時五百分(東) 衛生メモ 同九時二〇分(東) 領土 同九時二〇分(東) 気速通報 同九時二〇分(東) 気速通報 同九時二〇分(東) 気速通報

受けて重宝!

銃後の

П

酔せ ず

秀一

理 アルス受信器ニナードコッ

長期月願賣リ

○横遠急行 東京―名古居―波神 期門コース(作泉中) | 休 九

京城府南大門通二丁目二三(案內督趙呈)

大阪商船出机

田政【113】

股岛 新五郎 芳村伊千宁郎 芳村伊千宁郎

味るとのでする。を

ば美しく染る

一九 十二月廿八日 一九 十二月廿八日 一九 十二月廿八日 一九 井 登 下,县前,鹿只尽,东陆

阪商船駅出帆 連絡使添鉛

阿波共同汽船帐出舰

大連直行

第三要第二分テ始軍連絡

この旨さ

原田本土

一、路山田町 朝鲜汽船出帆廣告

月十三日 出現 代華店 高田 陶全地 超二人番

では、 のでは、 のでは、

九州野船出棚廣告